

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	静岡県富士市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	富士市文化遺産である吉原祇園祭を活用した地域活性化事業	【計画の改善時期】 平成 年度	
4 実施計画期間	平成 31 年度 ～ 平成 32 年度		
5 実施計画の概要			
<p>平成28年度から平成32年度を計画期間とする富士市第五次総合計画後期基本計画では、地域の活性化を進めていくためには、個性豊かな地域づくりが重要であると捉え、文化財の活用を通して地域のアイデンティティを見出し、地域社会で文化財を保存・継承するために、本市の文化を語る上で重要な伝統芸能や祭礼を保護顕彰し、地域文化の保存・継承を推進することを基本方針としている。これを実施する計画として、平成31年度・32年度の2ヵ年で下記の取り組みを行う。</p> <p>・吉原祇園祭を活用した地域活性化事業 吉原祇園祭は、東海道の宿場町として栄えた吉原の地で受け継がれてきた祭礼で、山盛りの笹を纏った神輿や、全部で21台あるさまざまな形の山車・屋台は、近隣の市町では見られない特徴的なコンテンツを有している。この吉原祇園祭を映像記録として残すとともに、吉原祇園祭の山車を修理し、その修理に関わる全工程を映像記録に残し、映像記録の配布や上映を通して、文化財や郷土の歴史について市民の理解を深め、地域の独自性を知ってもらう機会を提供し、地域に対する誇りを醸成する。</p>			
6 実施体制			
<p>富士市が本実施計画にかかる全体の企画・調整を行う。各事業についての担当・役割は次のとおり。</p> <p>市民部文化振興課：全体計画のうち、文化財、文化的資源の取り扱いに関する指導・調整等。</p> <p>また、補助事業は次の団体が実施する。 東本通り1.2丁目山車保存継承実行委員会</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成30年度交付決定額： 0 千円	平成31年度要望額： 7,478 千円
	(2) 実施事業の概要	別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>東海一とも称される吉原祇園祭に関する計画を実施することで、地域の文化を継承するための歴史文化資源の調査・保全が進み、かつ広く市民へ地域の歴史に対する興味喚起ができる。さらに、地域の文化を理解するための学びの場を提供することにもつながり、宿場町の成り立ちや人・モノの交流の場としての祭礼などを地域全体で学習できる良い機会となる。</p> <p>また、地元にとって吉原祇園祭は「盆や正月に帰省できなくても、祇園祭には帰る」との言葉が転出者から聞かれるように、故郷への郷愁を引き起こすきっかけとなっている。本事業により、祭礼や山車の存在が再認識されることで、より多くの人たちの祭礼への参加や見学者の増加が期待され、地域への愛着の深まりや町の活性化が推進される。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：			
事業概要：			
事業概要：			
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
<p>吉原祇園祭に関する計画を実施することで、富士市内の未指定を含めた文化財や、地域で継承されてきた無形文化財に対する市民および地域住民の関心が高まり、「文化財保存活用計画」の策定に向けた足がかりとなる。</p>			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	富士市 市民部 文化振興課		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分1:	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分1:	地域の祭礼行事等への入込客数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標1:	吉原祇園祭への入り込み客数			関連事業:		
目標値1:	【現状値】 平成 30 年度 20万人 (単位) ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 22万人 (単位)					
設定根拠1:	平成30年度の入込み客数をベースに、各種事業による増加数を見込んだ。					
進捗状況1:	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)
目標区分2:	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分2:	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標2:	吉原祇園祭祭典委員会の会員数			関連事業:		
目標値2:	【現状値】 平成 30 年度 50 (単位) ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 60 (単位)					
設定根拠2:	平成30年度の会員数をベースに、各種事業による増加数を見込んだ。					
進捗状況2:	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)
目標区分3:	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分3:	文化遺産が所在する最寄駅の乗降者者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標3:	吉原本町駅の乗降者数 (一日あたり)			関連事業:		
目標値3:	【現状値】 平成 30 年度 1,000 (単位) ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 1,100 (単位)					
設定根拠3:	平成30年度の乗降者数をベースに、各種事業による増加数を見込んだ。					
進捗状況3:	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)

